

平成 27 年度 重点指導事項

日本高等学校野球連盟
審判規則委員会

「白い線には意味がある」

指導者、審判委員の多くの方は高校野球経験者であると思います。高校時代の練習の中でベースランニングを繰り返し行った記憶も懐かしいことでしょう。もし、ベースランニング時に「スリーフットレーン」が描かれていれば・・・。

高校野球の試合で、正しい走塁が出来ずに「妨害アウト」の宣告を受けたり、審判委員から注意を受けているシーンを見かけます。

そのことがきっかけでチーム全体が、規則を理解されるように努力もされています。

選手の皆さんは、普段の練習や練習試合から、白線がひかれている意味を理解すれば正しい野球（フェアプレイ）を確立していくことができると思います。

「ラインと判定」

1. スリーフットライン… 3 フィート (91.4 センチ)

打者走者の走路：規則 6.05(k)【原注】打者走者は両足をスリーフットレーンの中かレーンを形作るライン上に置かなければならない。スリーフットレーンを形成するラインは、レーンの一部であるからである。

3 フィート≒91.4 センチは身体の中心線から片腕を伸ばした幅くらいが目安。

2. 塁間の走者とラインアウト

規則 7.08(a)(1)【注1】、【注2】：白線が引かれていない塁間、正しい走塁や守備のために走者と野手が予め意識しておくべきポイント。

3. バッターボックスと反則打球

「バッターボックス」規則 2.10

「反則打球」規則 5.09(d)、規則 6.06(a)【原注】

4. ダートサークル

規則 6.09(b)【原注】：捕手が第3ストライクを宣告された投球を捕らえなかった場合、アウトカウントや走者の位置によって適用が変わる規則を熟知すること。

5. キャッチャースボックス

規則 2.17、4.03(a)、8.05(1)【注】：捕手はホームプレートの直後に位置しなければならない。

6. コーチスボックスとコーチの肉体的援助

規則 4.05(b)(2)【原注】【注3】、7.09(h)：ベースコーチは常にコーチスボックス内にとどまることが基本。

※ 上記内容については「高校生のための野球規則のABC PARTⅢ」にも詳しく解説しておりますので参考にしてください。

以 上